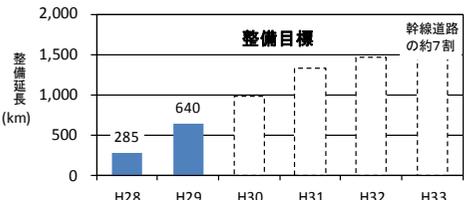


事業評価票

227	自転車ナビルート設置計画 (警視庁交通部／一般会計)	事業開始	平成 31 年度
		事業終期	平成 33 年度

【局評価】

<p>1 どのような経緯で事業を始めたか、何を指すのか</p> <p>○ 都内の自転車関与事故は、交通事故の約3割を占め、その削減が喫緊の課題となっていた。</p> <p>○ また、平成27年6月の自転車運転者講習制度開始以降、交通管理者として、更なる自転車交通事故防止総合対策の推進が求められている。</p> <p>○ そこで、自転車の交通ルールを徹底するため、主に駅周辺地区で設置してきた自転車ナビマーク等を幹線道路に拡大することにより、道路利用者全体の意識改革を達成し、自転車関与事故を削減させる。</p> <p>【整備目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路への自転車ナビマーク等設置 都内幹線道路の約7割（平成33年度まで）
<p>根拠法令等</p>

<p>2 どのように取り組み、どのような成果があったか</p> <p>○ 平成28年度より、幹線道路（国道・都道）の車道に自転車ナビマーク及び自転車ナビラインを設置することにより、自転車の正しい通行位置及び進行方向を周知するとともに、自動車ドライバーに対しては自転車への保護意識を醸成している。</p> <p>○ 平成28年度実施路線の効果検証を行ったところ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施路線での自転車関与事故が約10%減少 ・車道利用率が約5ポイント増加 ・逆走（車道右側通行）自転車が約44%減少 ・事業の拡大に賛同する道路利用者が7割超等の結果が得られ、事業の有用性が確認された。  <table border="1"> <caption>整備目標 (幹線道路の約7割)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>整備延長 (km)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>285</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>640</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>H33</td> <td>2,100</td> </tr> </tbody> </table>	年度	整備延長 (km)	H28	285	H29	640	H30	1,000	H31	1,400	H32	1,800	H33	2,100
年度	整備延長 (km)													
H28	285													
H29	640													
H30	1,000													
H31	1,400													
H32	1,800													
H33	2,100													

<p>3 どのような課題や問題点があったか</p> <p>○ 自転車ナビマーク・ナビラインの設置工事に当たっては、道路管理者等との綿密な調整及び連携が必要である。</p> <p>○ また、自転車ナビマーク・ナビラインの設置効果を高めるため、各種媒体（報道広報、ホームページ、指導看板及びリーフレット等）を活用した広報対策が必要となる。</p>
--

<p>4 局として、事業をどうしていきたいか</p> <table border="1"> <tr> <td>拡大・充実</td> <td>見直し・再構築</td> <td>移管・終了</td> <td>その他</td> </tr> </table> <p>○ ①効果検証結果から事業の有用性が確認できた、②道路利用者や道路管理者等から好意的な意見を得ている、③事業実施による負の影響（交通事故増加、明確な反対意見）は生じていないことから、都内全域において本事業の目的を達成するため、引き続き未実施路線・区間での整備を進める。</p> <p>○ 効果検証結果から、自転車交通量あるいは自動車交通量の多寡による整備効果の差に傾向は見られなかったものの、自転車の通行需要がほぼ無い路線・区間については、事業効果（費用対効果）の観点から整備対象から外すのが妥当であるため、設置効果の発揮が期待できる路線・区間に絞って事業を進めていく。</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">歳入</td> <td>29年度決算額</td> <td>— 千円</td> <td rowspan="3">歳出</td> <td>29年度決算額</td> <td>546,864 千円</td> </tr> <tr> <td>30年度予算額</td> <td>— 千円</td> <td>30年度予算額</td> <td>723,690 千円</td> </tr> <tr> <td>31年度見積額</td> <td>— 千円</td> <td>31年度見積額</td> <td>707,159 千円</td> </tr> </table>	拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他	歳入	29年度決算額	— 千円	歳出	29年度決算額	546,864 千円	30年度予算額	— 千円	30年度予算額	723,690 千円	31年度見積額	— 千円	31年度見積額	707,159 千円
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他															
歳入	29年度決算額	— 千円	歳出	29年度決算額		546,864 千円												
	30年度予算額	— 千円		30年度予算額	723,690 千円													
	31年度見積額	— 千円		31年度見積額	707,159 千円													

【財務局評価】

<p>5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか</p> <p>○ 自転車関与事故の防止のため、自転車ナビマーク・ナビラインの設置が有効であることが実証されており、引き続き目標に向けて事業を継続していくことが妥当である。</p> <p>○ 一方、設置工事に当たっては、道路管理者等との連携を確実にし、無駄のない効率的な設置を進める必要がある。</p>
--

<p>6 31年度予算で、どのように対応したか</p> <table border="1"> <tr> <td>拡大・充実</td> <td>見直し・再構築</td> <td>移管・終了</td> <td>その他</td> </tr> </table> <p>○ 計画目標の達成に向けて前年同規模の実施を見込んでいる。</p> <p>○ 過去の実績を踏まえ実施可能路線の絞り込みを実施しており、経費の縮減が図られているため、見積額のとおり計上する。</p> <table border="1"> <tr> <td>歳入</td> <td>31年度予算額</td> <td>— 千円</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>31年度予算額</td> <td>707,159 千円</td> </tr> </table>	拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他	歳入	31年度予算額	— 千円	歳出	31年度予算額	707,159 千円
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他							
歳入	31年度予算額	— 千円								
歳出	31年度予算額	707,159 千円								